

## 会社情報

会社概要	
会社名	株式会社テレビ東京ホールディングス (TV TOKYO Holdings Corporation)
本店所在地	東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー
URL	<a href="https://www.txhd.co.jp/">https://www.txhd.co.jp/</a>
設立	2010年10月1日
資本金	100億円

役員		(2019年6月25日現在)
代表取締役会長	高橋 雄一	株式会社テレビ東京 代表取締役会長
代表取締役社長	小孫 茂	株式会社テレビ東京 代表取締役社長
専務取締役	石川 一郎	総務人事、業務改革、経営企画統括
	田村 明彦	営業、スポーツ・五輪統括 株式会社BSテレビ東京 代表取締役社長
	廣瀬 和彦	経理、ネットワーク統括
	新実 傑	CIO、技術、報道、メディア戦略統括
常務取締役	加増 良弘	経営企画担当、法務、グループ戦略、広報・IR統括
	井上 康	総合編成統括、コンテンツ統括局長
取締役	狐崎 浩子	総務人事担当、労務統括
	松本 篤信	制作統括
	大橋 洋治	ANAホールディングス株式会社 相談役
	岩沙 弘道	三井不動産株式会社 代表取締役会長
	岡田 直敏	株式会社日本経済新聞社 代表取締役社長
常勤監査役	村田 一郎	
監査役	鎌田 真一	株式会社QUICK 特別顧問
	松尾 邦弘	弁護士
	加賀見 俊夫	株式会社オリエンタルランド 代表取締役会長(兼)CEO

(注) 1. 取締役 大橋洋治氏、取締役 岩沙弘道氏、取締役 岡田直敏氏は社外取締役です。  
2. 監査役 鎌田真一氏、監査役 松尾邦弘氏、監査役 加賀見俊夫氏は社外監査役です。

グループ全体の最新情報はこちら

<https://www.txhd.co.jp/>

TXHD 検索

詳しくは Webで

テレビ東京ホールディングスとグループ会社の最新情報をまとめて閲覧できます。また、テレビ東京ホールディングスの経営計画や財務情報、株式情報など、株主・投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。



## 株式情報 (2019年3月31日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	100,000,000 株
発行済株式総数	28,779,500 株
株主数	8,970 名
単元株式数	100 株

大株主		
株主名	持株数(株)	所有比率(%)
株式会社日本経済新聞社	9,052,710	31.46
吉田嘉明	1,400,000	4.86
株式会社みずほ銀行	1,006,300	3.50
三井物産株式会社	1,002,050	3.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	859,500	2.99
日本生命保険相互会社	680,150	2.36
株式会社東京計画	660,000	2.29
株式会社三菱UFJ銀行	595,500	2.07
株式会社SMBC信託銀行(三井住友銀行退職給付信託口)	590,500	2.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	561,500	1.95

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催(議決権の基準日は毎年3月31日)
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

### お手続き

- 株式に関する各種お手続き(未受領の配当金を除く)につきましては、原則、口座を開設している証券会社等で承ります。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行、みずほ銀行及びみずほ証券(取次のみ)の本支店で承ります。
- ご不明な点は、下記のみずほ信託銀行へお問い合わせください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324(フリーダイヤル)

### お問い合わせ先

株式会社テレビ東京ホールディングス 総務人事局総務部  
〒106-8007 東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー ☎03-6635-1771(代表)



この印刷物は、FSC認証紙を使用し、植物油100%の「植物油インキ」を使い、「水なし印刷」で印刷しています。



テレビ東京グループ ステークホルダー通信

# ナナノワ

2019 Summer

## 第9期報告書

2018.4.1 ▶ 2019.3.31

今日とあしたと、  
笑顔をつなぐ、  
ナナノワ



“伝える”ことを通じて、  
多様で豊かな  
社会づくりに貢献したい。

テレビ東京グループは、「経済報道・健全なエンターテインメント・アニメ」などの番組、コンテンツを中心に、「頑張る人や企業」「人の絆、家族の絆」「地域そのものの魅力」「多様な文化の“芽”を育てる」といったことを大切にしながら個性と独自性を培ってまいりました。  
これからも“テレ東DNA”を力の源泉に番組・コンテンツづくりにまい進し、豊かな社会の実現と文化の創造につなげてまいります。

CONTENTS

トップメッセージ	02
特集 55周年記念 座談会	03
テレビ東京グループ事業報告	09
2019年3月期 業績報告	15
CSRレポート	17
テレビ東京グループ・TXNネットワーク	18

テレビ東京グループは未来に向けて  
視聴者の皆様に豊かな時間をお届けしてまいります。



株式会社テレビ東京ホールディングス  
代表取締役社長

小孫 茂

皆様におかれましては、平素よりテレビ東京グループに対して格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

2018年度のテレビ東京グループは、積極的な事業展開により売上高は過去最高を更新いたしました。今後の競争力強化のための先行投資負担により、若干の減益決算となりました。

私どもテレビ東京グループは、新たな可能性を追求し挑戦を続けることが番組制作の本質であり、「テレビ東京にしかない」を合言葉に独自性のあるコンテンツづくりに真摯に取り組んでいきます。

推進中である「2019中期経営計画」では、放送局としての存在価値を高めるべく他局にはない独自のコンテンツ制作はもちろんのこと、配信事業展開の可能性も追求しビジネスとしての拡がりや常に意識した番組づくりを行ってまいります。

2018年12月からはBSテレビ東京でBS4K放送を開始し、新たな映像の世界を展開しております。テレビ東京グループは未来に向けて、魅力溢れるコンテンツを様々な方法でお届けし、視聴者の皆様にこれからも豊かな時間を提供することをお約束いたします。

今後とも株主の皆様をはじめとするステークホルダーや視聴者の皆様のご信頼とご期待に応えてまいりますので、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 「テレ東らしさ」より「テレ東にしかない」！＝スペシャリティの追求

開局 55 周年を記念して、「これまでとこれからのテレビ東京」をテーマにテレビ東京と同じ年代の 4 名による座談会を開催。事業環境の変化や技術の進歩など、目まぐるしく時代が変わっていきなかにテレビ東京が培ってきたもの、これから目指す未来について語り合っていました。



## 執行役員 押田 裕一

1989 年入社。26 年間にわたり営業局に勤務の後、アニメ事業を担当。編成局長、テレビ東京コミュニケーションズ代表取締役社長、アニメ局長を経て、2019 年 6 月 25 日に執行役員ビジネス開発局長に就任。

## 上席執行役員 福田 一平

1987 年入社。報道局で『ガイアの夜明け』『カンブリア宮殿』の立ち上げに携わる。編成部長、コンテンツ事業局長、ビジネス開発局長を経て、2019 年 6 月 20 日に株式会社プレミアム・プラットフォーム・ジャパンの常務取締役就任。

## 上席執行役員 長田 隆

1987 年入社。営業局、スポーツ局、編成局を経て、コンテンツ事業局へ。その後、編成局に戻り、編成部長、編成局長を経て、2019 年 6 月 25 日に上席執行役員営業局長に就任。

## 技術局長 前進

1986 年入社。以来、技術局で一貫して番組の制作技術に携わる。2016 年の本社移転プロジェクトでは放送設備を担当。昨年技術局長に就任。

▶「テレビ東京らしさ」を打ち破った先に見えるもの

—皆さんにとって「テレビ東京らしさ」や「テレビ東京の強み」とは何でしょうか？

**長田** 「テレビ東京らしさ」という言葉は普段からよく使っていますが、その根底にあるのは「番組の個性を際立たせて他局との差別化を図ろう」という考え方です。これは企画段階から強く意識していることであり、長い歴史の中で培われてきたテレビ東京の文化ともいえるものです。一方で未来に目を向けると、「らしさ」についてはより視野を広げて考えていかねばならないと感じています。そのきっかけとなったのが、開局 55 周年の番組プロジェクトに向けてテレビ東京らしさとは何かを徹底的に議論したこと。「個人的であることは変えるべきではない。けれど時代が変わっていきなかに『テレビ東京らしさ』の受け止め方は違ってくるのでは？」という結論になり、キーワードとしてあがったのが「新たな違和感」でした。自分たちがイメージする「テレビ東京らしさ」にこだわりすぎないほうが、既存の枠を超え出る番組を生み出すことにつながるのではないのでしょうか。

**福田** 「らしさ」を追求し始めると、それはもう「テレビ東京らしさ」ではなくなりますがね。「テレビ東京らしさ」というのは、常に新しさを生みだしていこうとするパワーのこと。過去や現在をそのまま踏襲していても新しいものはできません。今いわれている「テレビ東京らしさ」を打破することでこそ、より一層「テレビ東京らしさ」が磨かれていくのだと思います。

**押田** テレビ東京の強みの一つが編成です。特にアニメに関しては子供向けからハイターゲットのジャンルまで網羅しており、番組数が非常に多いのが特徴です。これも他局との差別化のために生まれた発想ですが、結果としてアニメの映像事業の拡大につながっています。これからの時代も環境変化に合わせて新たな強みをつくっていくことは必要ですし、そのためには「らしさ」の議論も続けていくべきだと思います。

**前** 予算が少ない、人がいないという厳しい状況が長く続いてきたなかで、それでもめげずに新しいことをやろう、おもしろいことをやろうという明るい空気が昔からあるのは、テレビ東京ならではの良き風土だと感じています。ちょっとバカバカしいけれどチャレンジ精神を感じられる、これまでに感じたことのないおもしろさがある番組をつ

くれることが我々の強み。こうした独自性は今後も究めていくべきだと思っています。

▶進化を続けるテクノロジーをいかに早く取り入れ活用するか

—VR（仮想現実）、AI（人工知能）4K、5G など、急速に技術革新が進んでいます。こうした事業環境の変化をどのようにとらえていますか？

**前** NHK さんは番組放送とインターネットの同時配信に向けて動いていますし、今年度は総務省による地上波での 4K 放送の実証実験が始まります。新たな取り組みには莫大な設備投資が必要ですが、体力が続く限り、我々も積極的に進めていくべきだと考えています。何より大事なのはコンテンツであり、それをしっかりと下支えしていくのが技術の役割だと感じています。

**福田** 目まぐるしく環境が変化するなか、スピード感を持って対応していかなければ生き残ることはできないでしょう。テレビ東京は機敏性がある小回りが利きますから、綿密に計画を立てて満を持して乗り込むというよりも、バスが走り出したら

考える前にとりあえず乗るというスタンスです。4K 放送に関してはいち早くドラマ制作に着手し、深夜ドラマも含めて現在はほとんどのドラマが4K制作となっています。これはインターネット配信における付加価値を見据えたもので、BSテレビ東京での4K放送スタートに合わせた取り組みでもあります。現時点で民放キー局のなかでは4K制作番組の本数はテレビ東京が一番多いでしょう。また、今後大きなマーケットになると予測されるVTuberにも注目しており、4月からはテレビ史上初となるVTuber主演ドラマを放送しています。テレビ東京は新しいもの好きで、トレンドをキャッチしてチャレンジにつなげていく土壌があると感じます。

**長田** 我々はコンテンツメーカーですから、技術革新によってコンテンツが魅力を増すということは非常に歓迎すべきことで

すよね。もちろん予算や現場の動きをどうするかなど課題もありますが、うまくバランスをとりながら、未来への投資をしていくことは重要だと思います。

**押田** 新たな技術によって今まで表現できなかったコンテンツを生みだしたり、放送と通信の融合を図ったりと、様々なものを組み合わせることで新たなビジネスの可能性が見えてくるはずですよ。5Gについてもまさしく通信との融合をどうするかを考えていくことが新しいコンテンツやビジネスの創出につながっていくと思いますし、こうしたチャレンジがテレビ東京の進化へと結びついていくことを期待します。

#### ——番組やコンテンツ制作における課題はありますか？

**押田** ネットの出現によってコンテンツのタッチポイントが飛躍的に増えた結果、視聴者やユーザーのニーズは非常に多様化しています。最近打ち合わせをしてよく出てくるのが、「これは放送向きなの？ネット向きなの？」というフレーズです。非常に難しいテーマですが、テレビ局としてどう向き合っていくかは重要な課題だと感じています。

**福田** もともとテレビ業界はネットの世界になかなか入って

いこうとせず、テレビとネットのカニバリゼーションが起こるのではないかと懸念を抱えていました。その間にYouTubeが爆発的にヒットして巨大なマーケットを生みだしましたが、そこで見られているのはYouTuberが作り出したショートコンテンツであり、テレビ局が制作したリッチコンテンツではありません。だからといって我々が今からショートコンテンツを量産し始めるのは正解ではないと思いますし、ネットユーザーの嗜好がこうだから、それに合わせてこういうものをつくりましょうという発想も我々にはありません。自分たちが信じるものをしっかりつくって観ていただくという部分は今後も変える必要はないと感じています。一方、2020年の春から5Gの商用サービスが始まりますが、これにより通信容量制限から解放され「動画元年」が始まるといえます。テレビ局が制作した長尺なコンテンツもスマホで好きなだけ見ることができ、テレビとネットで同じ世界が展開されるわけですが、やはり100%ユーザー視点だけを反映したものづくりというのはテレビ東京らしくない気がします。

**前** 電車での移動中にYouTubeやTikTokの動画を見ている若い方はたくさんいますから、タレントさんにショートムービーに出演していただいて10代のユーザーの関心を集めるなど、今の状況をうまく利用していくという考え方をしていけばいいのではないのでしょうか。あらゆるコンテンツが溢れているからこそ、制作側の思いが伝

わるような芯のあるコンテンツができれば、テレビ東京の個性を一層際立たせることができると思います。

**長田** マーケティングデータはコンテンツをつくるうえで絶対的に必要な材料ですが、多様性の時代だからこそ、データだけにとらわれない柔軟な発想が必要であり、それが「テレビ東京らしさ」につながっていくのではないのでしょうか。よく議論されることですが、データからつくり上げた企画は合格点に届くことはできても、視聴者の想像を超えることはできません。番組を見て驚いたり笑ったり、そういった体験を通じてテレビ東京に対するイメージは形づくられています。ヒットコンテンツを生みだすには、つくりたいものをつくる「プロダクトアウト」と視聴者のニーズを反映する「マーケットイン」の融合が必要です。企画段階ではリスクがあるとされながらも結果的にヒットした企画も多くありますから、チャレンジを続けていき、時には失敗して、それでも新しいものをつくるサイクルを回していけばと思います。編成に関していえば、デバイスの多様化に伴って宣伝プロモーションの幅も広がっていかねばならないと感じます。デジタルネイティブ世代にとってはスマホやタブレットから情報を得ることが当たり前ですから、コンテンツの内容だけでなく、伝え方も工夫する余地があると思います。

**押田** アニメでも、デジタル分野での宣伝について、いかに放送の方に引き入れ

ながら立体的なプロモーションができるかという部分に注力しています。テレビでのプロモーションだけでは成立しない時代が来ていますから、事業展開を図るうえで大きなポイントになりそうですね。

▶守りに入らず  
果敢に攻め続ける

#### ——テレビ東京の次代を担う若手社員にどんなことを期待していますか？

**長田** 放送業界だけの話ではないと思いますが、非常に大きな変化の波が押し寄せてきています。テレビ東京は1つのビジネスモデルを50年以上続けてきましたが、若手社員には変化が訪れている今こそチャンスだと伝えています。大きな動きもなく安定している時には、誰も変革を起こそうとは思いませんよね。そうすると組織は年功序列になりがちで、現場の意見はなかなか上に上がっていきません。しかし、これからの時代は従来のやり方にこだわっていき生き残れませんし、若い人にもたくさんの方が生まれています。そういった点でやりがいを感じてほしいと思いますし、優秀な人材が活躍することで会社に新たなエネルギーが生まれ、テレビ東京のさらなる成長につなげてほしいと思っています。



**福田** 人が少ないからこそ、若手の頃から大きな仕事を任せられ鍛えられて大きく育てていくというテレビ東京ならではの文化もありますからね。この先も守りに入って普通の会社になるのではなく、若くて能力のある人材を最大限に活用し独自性を築いていくことは我々世代の使命でもあるでしょうね。

**長田** まさに長年受け継がれてきたテレビ東京のDNAを発揮すべき時が来ている実感があります。

**前** そうですね。技術を始め、あらゆる現場において若手世代が力を発揮できる土壌がありますから、今まで以上にチャレンジの機会を与えることができたらいいですね。

**押田** 1つの分野の知識だけでは動ける範囲も限られてきてしまいますから、一人何役にもチャレンジして成長してほしいと思

います。ただし知識だけを持っていても行動しなければ意味がありませんから、自分で考えて動くことを意識してほしいですね。また、組織面については各部門をつなぐパイプをより太くして連携力を高めていくことも重要だと思います。一つのテーマに丸となって取り組める環境ができれば、事業のスピードも加速させることができるでしょう。

▶ “テレビ局”だからこそ  
発信できる社会への貢献とは

——テレビは非常に大きな影響力を持つメディアで、社会と様々な関わりを持つ業態であり、その責任も非常に大きいと思います。テレビ東京がステークホルダーに提供すべき価値とはどのようなものでしょうか？



**押田** 会社が目指す方向性として「地上波放送、BS放送、インターネット配信の一体的な運用」が掲げられていますが、その大前提として、バラエティ＝笑って楽しめる、報道＝信頼感があるといった自分たちなりの基準をクリアした安心感のあるコンテンツづくりを続けることが必要不可欠だと考えています。50年以上にわたり築き上げてきた視聴者の皆さんとの信頼関係は大切な財産であり、将来において新しいビジネスやコンテンツを生み出すうえでの土台となるものです。チャレンジすることを恐れてはいけませんが、基本的に立ち返って自分たちの役割をしっかりと果たしていくことも忘れてはならないと思います。

**福田** 業界内では警報や避難警報をテレビの受信機で表示するなどの取り組みが進んでいますが、我々は視聴者の皆さんに喜んでいただく、あるいは問題提起をするといった役目を全うすべきだと思います。これは媒体が何であろうと変わることはありませんが、テレビに加えネット配信という新たな流通経路を確保することは、これまでテレビ東京の番組をご覧いただけなかった方たちとの接点が生まれるということです。大きなビジネスチャンスであり、テレビ東京にとって非常におもしろい

時代が到来していると感じています。

**前** 「情報を伝える」という社会インフラの役割を維持しつつ、CSR活動としては校外学習プログラムを実施し、社外から高評価をいただいています。エンターテインメントの枠の中で地域活性化や女性活躍推進といった社会課題をテーマにした番組づくりをすることは非常にハードルが高いのですが、実現可能性が見えたならば、ぜひ取り組んでいくべきと感じています。

**福田** 今年8月に共催する高校生を対象とした全国eスポーツ大会は、社会貢献の側面もあるのではないのでしょうか。eスポーツはオリンピックの正式種目としても検討されている注目の競技であり、この大会を通じて高校生たちが夢を叶えるサポートをすることは非常に意義深いと感じています。テレビ東京としても新しい試みであり、デジタル領域における一つの成果となるイベントと位置づけています。

**押田** テレビに加え、ネットの世界でも我々が社会に貢献できることは多くあると思います。今や動画配信プラットフォームにはたくさんのコンテンツが上がっていますが、中には虚偽のものや信用できないものもあるでしょう。我々はメディアとして明確な線引きをしていく必要があると思えますし、それにより安心感や信頼感といった

メディアならではの価値を示すこともできると思います。動画コンテンツの広告の是非について議論がされ始めていますが、テレビ局として放送と通信の融合に取り組みつつ、バランスをとっていくことが大事だと考えています。

**長田** これだけ多くのメディアが生まれているなかでテレビ東京が50年以上支持され続けることができているのは、期待してくださる視聴者の方々の期待に応えようと努力し、地道に信頼関係を紡いできたからこそだと思います。CSR活動も重要ですが、番組づくりにおいて社会的なテーマを意識しすぎると企画そのものが型にはまってしまうのではないのでしょうか。『池の水ぜんぶ抜く』も結果的には環境保全というテーマにつながっていますが、先に環境保全をテーマにした番組をつくろうとしていたら、あの企画は生まれなかったと思います。

**福田** 極論をいえば、良い番組をつくり続けるということがテレビ局にできる最大の社会貢献なのかもしれません。芸人さんが人を笑わせることも、人や社会を幸せにするという意味で立派な社会貢献ですね。テレビ局もお笑い番組では笑いを、ドラマでは感動を、経済番組では国民の皆さんの生活に役立つ情報を提供しています。社会貢献のために何か新たに始めるというのではなく、自分たちがつくっているものが結果として社会のためになっていると

いうのが一番の理想形ではないでしょうか。

**長田** まさに、情報、感動、笑い、癒し、そういったものをあらゆる番組を通じて提供していくのがテレビ局の役割ですよね。作り手として日々の生活の中で感じる疑問や不安を番組づくりに活かしていくことが、我々だからこそできる社会貢献の在り方なのだと思います。

——最後に、ステークホルダーの皆様に向けてメッセージをお願いします。

**福田** 事業環境の変化は、テレビ東京にとって最大のチャンスととらえています。系列局が少ないといった物理的なハンデもネットの領域ではありませんから、そこでどんなコンテンツをつくって発信していかけるかは努力次第です。厳しい時代を乗り越えてきた分だけ、荒波に慣れているのも我々の強みです。これからテレビ東京が大きく成長していくのを温かく見届けていただければ嬉しいです。

**長田** 制約があるからこそ知恵が生まれるというように、諸先輩方の頑張りによりどんな困難にも負けずに強く生き残ってきた我々ですから、今後訪れる変化の波もウェルカムという気持ちで構えていたいと



思います。時には失敗もするかと思います。皆様に叱咤激励いただきながら、前に進み続けていきたいと思っています。

**押田** これまで会社を支えてきた多くの仲間たちの背中を見て育ってきた私たちは、これからも前のめりでチャレンジする姿勢を持ち続けていきます。環境変化のなかでどんどんチャンスをつかまえ、日々新たな挑戦を続けていきます。

**前** 技術革新のスピードはこれからも加速していくでしょう。そのなかでテレビ東京にしかできないこと、我々にしか提供しえない価値が必ずあるはず。それを追求し続け、唯一無二の存在を目指していきます。どうぞご期待ください。

## テレビ東京 開局55周年も“テレ東は変わらない”



2018年度の視聴率はゴールデンタイム6.3%(-0.3%)、全日2.7%(-0.1%)、プライムタイム5.9%(-0.3%)となりました。HUTの低下、録画や動画視聴の増加など決して楽観できない状況ですが、開局以来の精神は変わりません。

他局とは違う、テレ東にいま視聴者が求めている番組は何かを考え、作り続けます。4月改編では平日19時、20時台を強化。水曜日の『一茂&良純の自由すぎるTV』、木曜日の『太川蛭子の旅バラ』ではそれぞれの番組の名コンビが様々な企画にチャ

レンジ、どんな展開になるのか予測不能です。火曜日のスペシャル枠『火曜エンタ』では新たなヒットを狙います。また、2年目に突入した月曜22時のドラマBizは玉木宏主演『スパイラル〜町工場の奇跡〜』、金曜8時のドラマは上川隆也主演『執事西園寺の名推理2』、ドラマ24は西島秀俊&内野聖陽W主演『きのう何食べた?』と魅力的なキャストと作品を揃えました。

これからもテレ東の番組にご期待ください!

### 6/26 水 5:55 による テレ東音楽祭

テレビ東京の50周年を記念してスタートしたJ-POP系の大型音楽特番「テレ東音楽祭」。MCは国分太一と広末涼子が担当。パワーアップした内容でお届けします。

変わった歌の演出も目玉の一つ!これまでは、AKB48が、池の水を抜いた後の池の底で「恋するフォーチュンクッキー」を歌う池コロボ、などを披露してきましたが、さて今年は?さらに、テレ東に眠る超大物アーティスト達の過去秘蔵VTRは今回も大放しします。

進行は驚見玲奈アナウンサー。今年もテレ東最大規模の音楽特番「テレ東音楽祭」をお楽しみに!

主な出演者: 国分太一、広末涼子



### 水 7:54 による 一茂&良純の自由すぎるTV

あらゆる番組に引っ張りだこの2人がテレ東で大暴れ! 「予定調和になっているテレビを打ち破りたい」と意気込む長嶋一茂の言葉通り、「いきなり〇〇やってみた!」をコンセプトに、2人が好奇心の赴くままにゲストとともにロケに繰り出します!

主な出演者: 長嶋一茂、石原良純



### 木 6:55 による 太川蛭子の旅バラ

脱力系名コンビが新旅企画でレギュラーに復活! 地元の方々と交流しながら名所・名物を探し、旅の資金を稼ぎながら豪華なご褒美を目指す「ローカル鉄道寄り道の旅」のほか、新企画も進行中!

主な出演者: 太川陽介、蛭子能収



## BSテレビ東京 BSテレ東は、挑戦し続けます



4月改編のキャッチフレーズは「テレビの力新発見 止まらない挑戦!」です。

4K放送スタート、新元号「令和」、開催が1年後に迫った東京五輪など、新時代が動き出した中、BSテレ東は、視聴者にTVの魅力、可能性を更に新発見してもらいたい!そのためにBSテレ東も「視聴者のために何かを新発見できるよう、絶えず挑戦を続ける」という気持ちを込めました。

4月から新しいジャンルの番組に挑戦しています。日曜よる9

時は「カンニング竹山の、新しい人生始めます!」。人生100年時代、健やかな人生を送るために、40代50代から何をすべきかを考えるライフスタイル提案番組です。ドラマの挑戦も止めません。土曜よる9時の連続ドラマは7月から「W県警の悲劇」。警察内部の女のバトルを描く異色の女刑事ドラマ、4K制作です。

平日よる10時の経済ニュース「日経プラス10」は、4月から榎戸教子キャスターが登場、「リアルな経済の今」をお伝えします。ご期待下さい。

### 日 9:00 による カンニング竹山の新しい人生、始めます!

今年で48歳になる、カンニング竹山と一緒に今後の人生を考えてみませんか!? 人生100年時代、「移住」「開業」「健康」「再就職」「資産運用」「相続」「趣味」などなど、40代から知っておきたい情報を紹介します!



主な出演者: カンニング竹山、角谷暁子(テレビ東京アナウンサー)

### 土 9:00 による 土曜ドラマ9 W県警の悲劇

W県警本部の幹部らの集まり「円卓会議」から、監察官・松永菜穂子(芦名星)に指令が下る。それは決して表沙汰にされたくない事件のもみ消しだった。菜穂子は所轄の女性警察官を監査室に呼び、尋問を始める…。女同士の対峙が繰り広げられる、これまでにない「イヤミス」ドラマ。

主な出演者: 芦名星



### 毎週月~金 10:00 による 日経プラス10

BSテレ東が日本経済新聞、日経BP、英フィナンシャル・タイムズ(FT)など日経グループ各社と制作する報道番組。メインキャスターは榎戸教子。日経の編集委員がニュースの真相を深く、わかりやすく解説します。

主な出演者: 榎戸教子



### 土 0:00 しんや 真夜中ドラマ 歌舞伎町弁護士 凛花

大手事務所の花形女性弁護士だった美鈴凛花(朝倉あき)は、歌舞伎町の弁護士事務所働くことに。凛花のもとに舞い込んでくるのは、キャバ嬢やホストなど全くかわったことのない人々ばかり…。戸惑いながらも困っている依頼人を助けていく。

主な出演者: 朝倉あき、武田航平、山地まり、岡田浩暉、渡辺裕之



7月13日スタート!

配信事業

TVerが大画面のテレビでも楽しめる「TVerテレビアプリ」スタート!

テレビ東京も参画している、民放公式テレビポータル「TVer(ティーバー)」では、4月より、テレビでも利用できる「TVer テレビアプリ」を公開いたしました。これにより、パソコン/スマートフォン・タブレットアプリでお楽しみいただいている「TVer」内のテレビ東京の番組を、ご家庭のテレビ\*1の大画面でもたっぷりお楽しみいただけます!

\*1 6/25現在、対応機種は、2015年以降に発売した Android TV 機能搭載ソニーブラビア、Amazon Fire TV シリーズです。今後、対応機種は順次追加される予定です。



BRAVIA Android TV

firetvstick

「きのう何食べた?」  
過去最高の配信数を記録!  
Twitter世界トレンドでも1位に!

累計発行部数500万部(電子版含む)突破の、よしながふみによる大人気漫画をドラマ化した『きのう何食べた?』(西島秀俊・内野聖陽W主演、4月5日スタート 毎週金曜深夜放送)を放送直後から無料配信。第1話は1週間で、150万再生を超え、テレビ東京歴代最高を記録。第2話以降も人気を博しています。TVerでの配信ランキングでも首位を記録、Twitter世界トレンドでも1位になるなど、放送だけでなく、ネット上でも大きな話題となりました。



©「きのう何食べた?」製作委員会

出演:西島秀俊、内野聖陽

イベント事業

テレビ東京開局55周年記念 国内最大級の高校対抗eスポーツ大会  
『Coca-Cola STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2019』開催

“STAGE:0(ステージゼロ)”という大会名には「この舞台からすべてが始まる」という意味が込められていて、eスポーツ競技の発展と世界で活躍する日本人選手の輩出を目指します。全国各地のメディアパートナーと協力して行われる本大会は6月から7月に全国7地区で予選会を行い、決勝大会は8月14日(水)・15日(木)。千葉県浦安市の「舞浜アンフィシアター」で実施します。



■大会公式WEBサイト:<https://stage0.jp/>

「ミュウツーの逆襲 EVOLUTION」  
7月12日(金)公開!

1998年に上映した記念すべきポケモン映画第1作「劇場版ポケットモンスター ミュウツーの逆襲」。興行収入72億円超、動員数654万人を記録し、原点であり最高峰である本作品が今年の夏、フル3DCG映像で新たに描かれます。ゲスト声優には1998年当時と同じく市村正親、小林幸子らを起用。シリーズ最大のヒット作の新たな映像体験をスクリーンでお届けします。



©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku  
©Pokémon ©2019 ピカチュウプロジェクト

「泣くな赤鬼」6月14日(金)公開!

ベストセラー作家・重松清の短編を映像化。かつて鬼の熱血指導から“赤鬼”と呼ばれた教師が、余命半年の元教え子・ゴルゴと思いがけない再会を果たす。「俺は分かったつもりで、全然わかってなかった。」という言葉に隠された赤鬼の想いとは——。余命半年の元教え子に、“せんせい”は何を教わったのか。今だからわかり合える教師と生徒の絆の物語です。主題歌は竹原ピストルの書き下ろし楽曲。高校野球の実況で増田和也アナウンサーが声の出演!



出演:堤真一 柳楽優弥 川栄李奈  
竜星 涼 キムラ緑子 麻生祐未

監督:兼重淳

配給:KADOKAWA

©2019「泣くな赤鬼」製作委員会

# Paravi報告

テレビ東京ホールディングスが出資する動画配信サービス「Paravi(パラビ)」は、2018年4月のスタートから1年が経ちました。Paraviにしかないオリジナルコンテンツや出資会社から独占的に提供される人気番組を軸にサービスの魅力を高め、順調に会員数を伸ばしています。

## 画期的！ドラマパラビ

テレビ東京と連携した「ドラマパラビ」は、業界初となる配信ならではの様々な手法に取り組み話題を集めています。第1弾の「天 天和通りの快男児」は初回放送直後に全12話を一挙に配信。第2弾「さすらい温泉 遠藤憲一」は翌月放送分をまとめて先行配信。第3弾「癒されたい男」は放送スタート前に、出演者が参加する全話オンライン試写会をライブで実施しました。



©「天」製作委員会  
©福本伸行 / 竹書房

## 卓球は全部ライブで！

「世界卓球」や「ワールドツアー」など卓球の主要国際大会はParaviでライブ配信と見逃し配信を行っています。大型のスポーツイベントは放送ですべてカバーできないケースもあり、柔道や野球、テニス、格闘技など扱う競技は着実に増えています。



## パラビジネスで時短

「2分で経済を面白く」をテーマに、「ワールドビジネスサテライト」や「ガイアの夜明け」などテレビ東京の経済番組を再編集したショートコンテンツ「パラビジネス」が、忙しいビジネスマンなどに好評を博しています。通勤・通学中にスマホで楽しめるよう毎日朝と夕方方に配信。音声を聞かずに映像だけでも内容が分かるよう字幕を多用しています。



## 人気番組は見逃してもOK

ドラマBizやバラエティー「YOUは何しに日本へ?」「モヤモヤさまぁ〜ず2」「THE★カラオケバトル」は独占的にParaviで見逃し配信しています。4月スタートの新番組もラインナップに加わり、TBSの番組もあわせて人気番組の独占見逃し配信はParaviの強みとなっています。



# 通販事業

テレビ東京グループでは、ネットやTVで魅力的な商品の通販事業を展開しています。

## テレ東本舗。WEB

「テレ東本舗。WEB」はテレビ東京、BSテレビ東京の人気番組グッズやDVDなどを販売しているネット通販サイトです。「出川哲朗の充電させてもらえませんか?」「孤独のグルメ」や「おそ松さん」「銀魂」「きのう何食べた?」などあらゆるジャンルの魅力的なオリジナル商品や、局キャラクター「ナナナ」のグッズを取り扱っており、また、DVD・ブルーレイの販売ではテレ東ならではの独自特典をつけて展開しています。今後も様々なテレ東らしい新商品にご期待ください。



テレ東本舗。WEB: <http://shop.tv-tokyo.co.jp/>

## テレビ東京ダイレクト

テレビ東京ダイレクトは、「なないろ日和!」などのテレビ通販事業を核とし、お取り寄せグルメ通販「虎ノ門市場」、旅事業の「旅スルおつかれ様〜ハーフタイムツアーズ〜」、売上絶好調のゴルフ事業、越境ECを展開する中国事業など多岐にわたるコマース事業を展開しています。また、拡大するEC事業に積極的に対応するとともに、BS放送、CS放送等あらゆるメディアに活動の場を拓いています。



テレビ東京ショッピングでれとマート: <https://tv-tokyoshop.jp/>  
虎ノ門市場: <http://www.toranomon-ichiba.com/>  
旅スルおつかれ様ハーフタイムツアーズ: <https://www.halftime-tours.jp/>

## テレビ東京コミュニケーションズ

### PEANUTS公式オンラインショップ

### おかいものSNOOPY 10周年!

テレビ東京コミュニケーションズが扱うPEANUTS公式オンラインショップ「おかいものSNOOPY」が、今年4月で10周年を迎えました。常時2,500点を超える商品をラインナップし、豊富な品揃えとサイト限定のオリジナル商品が全国のPEANUTSファンから多くの支持を集めています。10周年を祝し、特設サイトを公開し、ノベルティのプレゼントも実施しました。7月以降には、記念商品の販売も予定しております。

本店: <https://okaimono-snoopy.jp/>  
楽天市場店: <https://www.rakuten.co.jp/okaimono-snoopy/>



取扱商品  
ショップ限定オリジナル商品、  
国内向けPEANUTSライセンス商品

© 2019 Peanuts Worldwide LLC 日本のスヌーピーの公式サイトは [www.SNOOPY.co.jp](http://www.SNOOPY.co.jp)

## 5期連続で売上高記録を更新 将来の競争力強化に向けた先行投資を実施



### 1株当たり配当金

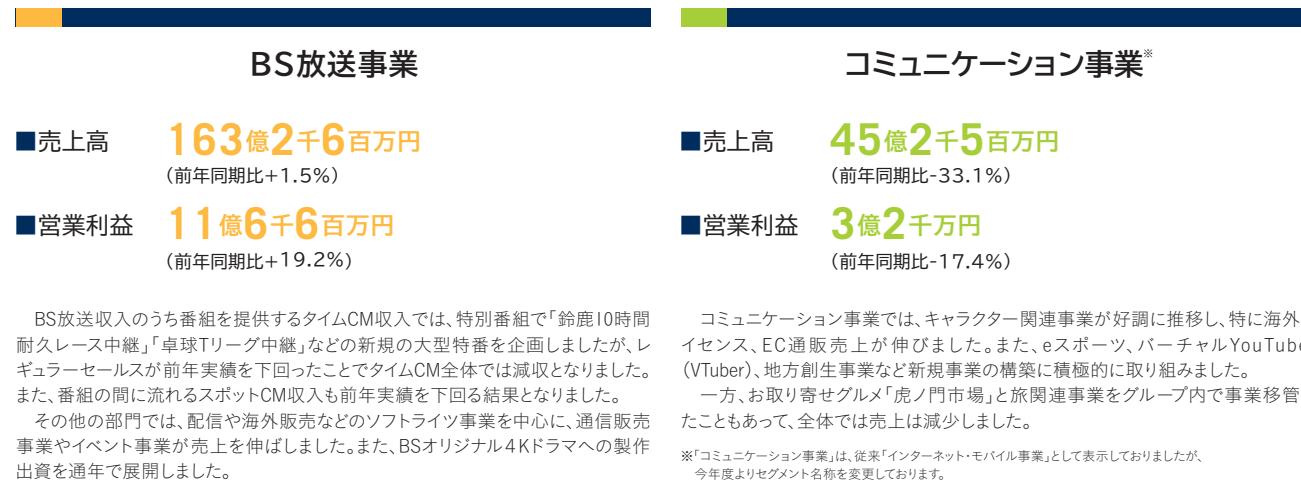
グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実に向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元を努めます。1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしています。  
(2020年3月期 配当予想)年間配当1株当たり40円(中間配当1株当たり15円、期末配当1株当たり25円)

2020年3月期 業績予想	売上高 …………… 1,520億円 (前年同期比+1.9%)	営業利益 ……… 62億4千万円 (前年同期比+4.9%)
---------------	-----------------------------------	----------------------------------



【連結子会社】(株)テレビ東京

【連結子会社】(株)テレビ東京ミュージック／(株)テレビ東京メディアネット／(株)テレビ東京コマース／(株)テレビ東京アート／(株)テレビ東京システム／(株)テレビ東京制作／(株)テレビ東京ダイレクト／(株)テレビ東京ヒューマン／(株)テクノマックス／(株)テレビ東京ビジネスサービス／(株)イー・ティー・エックス／TV TOKYO AMERICA, INC.



【連結子会社】(株)BSテレビ東京

\*「コミュニケーション事業」は、従来「インターネット・モバイル事業」として表示しておりましたが、今年度よりセグメント名称を変更しております。

【連結子会社】(株)テレビ東京コミュニケーションズ

## “校外学習活動”が 文部科学大臣賞を受賞

テレビ東京の校外学習活動が文部科学省の主催する「平成30年度 青少年の体験活動推進企業表彰」で最高位の**文部科学大臣賞**を受賞しました。

テレビ東京の校外学習活動は“すべての子どもたちに届ける”という理念のもと、病気や障害のある子どもたち、いじめで学校に行けないフリースクールに通う子どもたちなどの受け入れも積極的に行っていて、こうした点が高く評価されました。

表彰式のプレゼンテーションでは、「カメラ体験」や「リポーター体験」など“出前授業”の要素を来場者に体験してもらい、会場が沸きました。



審査委員 笹谷秀光氏 評

今回は応募内容のレベルが非常に高かったが、テレビ東京の校外学習は「教育的工夫と成果」「本業活用の工夫」「内容・進行管理」「情報発信」「社内理解」いずれの点から見ても非常に素晴らしく高得点の結果となった。誰からも異論なく審査委員全員一致で文部科学大臣賞と決まった。

テレビ東京グループのCSR活動

<http://www.tv-tokyo.co.jp/csr/>

Facebookでもご覧いただけます

<https://www.facebook.com/TvTokyo.csr/>

## テレビ東京グループ

(株)テレビ東京ホールディングスは、地上波放送、BS放送、コミュニケーション事業など、あらゆるメディアを持つテレビ東京グループの持株会社であり、ひとつのコンテンツが持つ価値の最大化を目指します。



※(株)BSテレビ東京は、2018年10月1日に(株)BSジャパンから社名を変更しました。

### 沿革

1964年	テレビ東京	日本科学技術振興財団テレビ局開局、放送開始
1968年	テレビ東京	(株)東京十二チャンネルプロダクション設立
1973年	テレビ東京	(株)東京十二チャンネルに社名変更 科学教育専門局から一般総合局へ
1981年	テレビ東京	(株)テレビ東京に社名変更
1985年	テレビ東京	港区虎ノ門に社屋移転
1998年	BSテレビ東京	(株)ビー・エス・ジャパン設立((株)BSテレビ東京)
1999年	テレビ東京	天王洲スタジオ完成
2001年	テレビ東京 コミュニケーションズ	テレビ東京ブロードバンド(株)設立
2010年	テレビ東京 ホールディングス	(株)テレビ東京、(株)BSジャパン、テレビ東京ブロードバンド(株)が経営統合して(株)テレビ東京ホールディングスを設立
2016年	テレビ東京 ホールディングス	港区六本木に社屋移転
2018年	BSテレビ東京	(株)BSテレビ東京に社名変更

## TXN ネットワーク

TXNネットワークは、テレビ東京をキー局として6局で構成された効率的なネットワークで、全国視聴可能世帯の約70%をカバーしています。



※住民基本台帳(総務省作成、2018年1月1日現在)の世帯数をベースに、民放テレビ局エリア調査(日本アドパタイザーズ協会)2008年版のカバレッジ数値を使用し、各局のエリア世帯数を算出。なお、テレビ北海道のカバレッジは同社調べ。